

## 平成 28 年度 地方創生加速化交付金事業

## ちばの里山 LIFE 体験交流事業実施報告書 (2)

主催：千葉県 企画運営：NPO 法人ちば里山センター

協力：早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス

題名	ちばの里山づくり体験モニターツアー（日帰り）
日時	平成 28 年 8 月 11 日（木） 9：45～18：00
会場	千葉県君津市鹿野山「ちば森林資源コンサーブ」活動地
出席者	受講生 38 名 スタッフ 15 名（ちば里山センター 4 名 ロドリゲス 3 名 里山団体 8 名） 講師 3 名 森林課 1 名
内容	<p>&lt;東京駅集合&gt;</p> <p>8：30 東京駅集合 バスを利用して現地へ</p> <p>11：30 現地合流</p> <p>&lt;現地集合&gt;</p> <p>9：45 現地集合</p> <p>9：45～10：00 日程説明</p> <p>10：00～11：30 竹林伐採、食器・箸、一輪挿しづくり</p> <p>11：30～13：00 昼食（イノシシ汁、流しそうめん、太巻きずし）</p> <p>13：00～14：45 竹林整備、道具手入れ</p> <p>14：45～16：15 チェーンソー伐採見学、木登り器具による木登り・伐採作業見学</p> <p>16：15～18：00 片付け、風呂入浴、連絡事項、解散</p>
報告	<p>【東京駅集合】</p> <p>東京駅集合組 23 名は 8 時 30 分に東京駅集合し、バスを利用して現地へ向かう。道路渋滞等で 3 時間をかけて 11 時 30 分に現地到着し、現地集合組と合流した。現地集合組は 10 時 30 分から竹林から竹を伐採し、食器・箸、一輪挿しを自作した。</p> <p>東京駅集合組現地に向かうバスの中では、里山団体グループの 10 名が自己紹介と里山活動体験を発表した。松戸市、船橋市といった都市周辺にある里山ボランティアの現状が述べられた。学生班は環境問題に関心を持った思いを語り、上級生は幾度か通っている里山活動の経験談を紹介した。</p> <p>やがてバスは目的地に到着し、現地集合組と合流し、準備されたイノシシ汁、流しそうめん、太巻き寿司の昼食を摂った。イノシシ汁は初めて食べる学生も多く、総じて「臭いは気にならない。おいしい」との感想が得られた。太巻き寿司は房総名物で「初めて出会った」と印象を語っていた。</p> <p>昼食後、学生班、社会人班に分かれ、竹林整備を行った。竹林整備の初心者が含まれる学生班は鹿野山自然学校の豊島大輝氏の指示に従い竹林伐採の説明を受けた後、竹が込み合う竹林に入った。伐倒方向、搬出路の確保、搬出した伐竹の置き場、積み上げ方などの基本作業を習得した。一通りの作業を終えると竹林全体が明るくなり、雰囲気が変わったことで作業の実感がつかめたものと思われた。</p> <p>里山団体グループ班は伐倒と伐竹置き場の整備を中心に森林整備を行った。急峻な斜面の竹林に放置されている枯れ竹を一本ずつ拾い置き場に集める作業が続いた。一時間の作業時間で森の見栄えが良くなり、様相が一変した。</p>

整備の後は道具類、特にノコギリに付着した竹のヤニトリをスプレーで除去し、次回の利用に備えた。

次にチェーンソーによるスギの伐採を見学した。里山グループの熟練者が直径 30 センチのスギにチェーンソーを入れた。伐倒角度を調整するにあたり、スギにかけたロープを滑車を使って調整した。学生班がロープを引っ張ると、大きくスギが傾き、地響きを立ててスギが倒れた。枝打ちした枝を集積場所に運び整理した。

最後に、木登りと上空での枝打ち実践を見学した講師は手戸博信氏。ロープと木登り器具を使った木登りはロープを適当な枝にかけ本ロープを繋ぎ、体を上下させる器具を固定する。体をロープに預け、木を登る。手際よく上がっていく姿に拍手が起こった。上空でノコギリを使って枝打ち、さらにチェーンソーを使って枝を打ち、幹から離れた時には拍手が起こった。

鹿野山ビューホテルの浴室にて汗を流し、連絡事項を伝達し、解散した。

添付資料（写真）



東京駅八重洲口に集合



イノシシ汁



太巻き寿司



食器は各自の手作り



そうめんを擀う学生の皆さん



作業前の集合写真



学生班整備の基本を学ぶ



搬出路の確保



整備した森をバックに（学生班）





竹林整備（社会人班）



伐倒竹搬出



広がった搬入路



ノコギリの清掃・整備



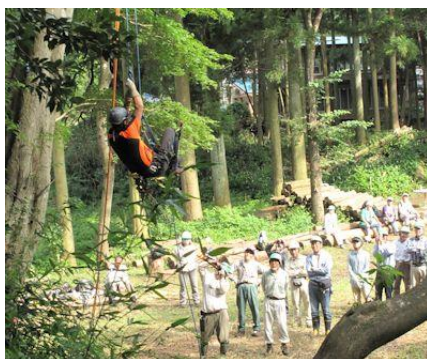
整備後の集合写真



ロープを引っ張る



倒れたスギ



ロープで木に登る



空中で枯れ枝を伐採